

麦



埼玉親の会「麦」発行
2022年2月24日 153号
E-mail: mugi.saitama89@gmail.com
ホームページ: <http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



令和3年度も総まとめ～代表よりメッセージ～



皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。コロナ禍は2年以上になり、予防対策と自粛に疲れたとも慣れてしまったともいえるような…。コロナ前の生活が戻ってほしいと思いつつ、オンラインの便利さを感じています。

今年度の役員会は全てオンラインでした。遠距離の役員も移動時間のロス無しで時間を有効に使えました。また、これまで不可能だった遠い地区で開催の講演会などを視聴することができました。

麦の活動でも、オンライン講演会を初めて行い、おしゃべり会もオンラインでも行っています。リモートでのお仕事、学校の授業等々、オンラインの便利さに気づくとともに不便さも多くの方が感じていると思います。私が受けている「麦電話」への問合せでは、麦へのアクセス手段が電話のみの方へどのように案内したらよいか悩み、情報の取扱いの難しさを実感しました。オンラインの行事では参加できないという方もいらっしゃるでしょう。リモートの会議では、お一人に話しかけるというようなちょっとした交流がしにくい等、コミュニケーションを図りづらいことも感じます。

コロナの影響と役員の数減で、思うように企画を立てることができずにいますが、オンラインも対面も両方で、皆さんが麦にいてよかったと感じていただける活動ができるよう工夫していきたいものです。そのために皆さんのご意見を是非お聞かせください。そしてご参加ください。お待ちしております。

今年度ご協力いただきありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願いいたします。

(M・K)

2021年度総会（正会員限定）

日時 3月7日（月）10：30から（10：15 受付開始）

場所 浦和コミュニティセンター13 集会室

※出席者は同封の総会資料を持参してください。

交流会「新年度の活動について」

総会后、13：00から浦和コミュニティセンター13 集会室

お昼は各自でご用意ください。

コロナウイルス感染状況により
総会は書面議決、交流会はオンライン
になる可能性があります。その際は
連絡網にてお知らせいたします。



10月発送

10月28日（木）に機関紙10月号の発送作業を行いました。

また、「教育から就業への移行実態調査Ⅳ（2017年）」を会員へ発送しました。発送役員2名とその他5名で作業しました。お手伝いいただき、ありがとうございました。

(M・A)

日本LD学会 第30回大会

全国LD親の会企画シンポジウム

司会：栗野健一氏（全国LD親の会副理事長）

LD等の発達障害児・者の家族への支援の多様なアプローチ ～本人と家族を支える、より良い連携のために～

リアルタイム配信 12/11（土） アーカイブ配信 1/31（月）まで

12/10（金）～12/12（日）日本LD学会第30回大会が、オンライン配信で開催されました。講演やシンポジウム、ポスター発表等、100を超える発表が行われ、とても有意義な大会でした。私は、全国LD親の会企画シンポジウムの話題提供者の1人として、12/11（土）パシフィコ横浜本部会場から参加させて頂きました。簡単ですが、標記シンポジウムの内容をご報告させていただきます。

話題提供1：井上祐紀氏（福島県立矢吹病院） 保護者支援について

発達障害の子どもが成長し年齢が高くなると、親子が直面する課題は複雑化する。発達障害のある子を育てている親は、思うように行かない子育てに戸惑い、親自身がメンタルヘルスの問題を抱えやすい。発達障害の子を持つ保護者支援は、親の健康状態・環境・親の考え方等の特徴を把握した上で、支援者が親に何を提供できるのか明確にすることが必要になる。ストレングス・モデル（ストレングス・トーク）や首尾一貫感覚（SOC）など新しい切り口から保護者支援のアイデア・コンテンツについて紹介提案する。

話題提供2：滝島真優氏（成蹊大学文学部客員研究員） きょうだい支援について

高齢化に伴い、障害のある人のきょうだいが担う役割は高まり、親亡き後も関わりを強く持つ可能性がある。発達障害のある子のきょうだい児（未成年のきょうだい）は、発達障害の行動特性ゆえに心理社会的影響を受けやすい。きょうだいに支援の必要性は徐々に広まっているが、支援体制が確立されているとは言い難い。きょうだいの悩みや不安は、環境や状況がまちまちなので一般化できない。きょうだいの立場に個別性があることを踏まえた上で、きょうだい児の課題に対する予防的プログラム「シブシブ」を紹介する。

話題提供3：矢崎弘美（全国LD親の会理事） 発達障害の子どもを持つ保護者へのピアサポート

発達障害の子どもを持つ保護者は、生涯にわたり不安の種がある。専門家や関係機関に相談した方が、効率よく解決できる悩みもあるが、同じ立場の人には本音で話やすく、共感してもらえる。思いを共有できる人との出会いは、問題が解決できなくても、精神的な拠り所になる。小グループのピアサポートでは、参加者全員が主体的に取り組めるルールが必要。また専門家でない保護者が、同じ立場の保護者から相談を受ける時は、心構えが大切。発達障害者本人への支援はもちろんだが、孤立する家族を生まない、支援体制を考えたい。

指定討論者：日戸由刈氏（相模女子大学 人間心理学科）

シンポジウムのポイントとして、「子どもの問題だけでなく、家族のメンタルヘルスをセットで考える」「発想の転換として、これまでの支援を振り返り再整理する」の2点を挙げた。話題提供者3名に対しては、井上氏には「支援者が新たなチャレンジをするために見直すと良いアドバイス」を、滝島氏には「実践を通じた効果の手ごたえや見えてきた課題」を、矢崎には「ピアサポート充実のために、専門機関にしてほしいこと・しないでほしいこと」を尋ねた。また3名全員に、シンポジウム視聴者達に一番分かってほしい事を質問した。

他の先生方に比べ、つたない発表で恐縮ですが、家族支援の在り方を考える時に、少しでもお役立ていただけたら幸いです。大会や本シンポジウムにご尽力くださった皆様、ありがとうございました。本シンポジウムをご視聴くださった皆様のご発展とご活躍を、心からお祈り申し上げます。（矢崎弘美）

全国LD親の会 関東・東北ブロック臨時会議

11/23(火・祝)、12/18(土)の2回にわたり、標題会議がZoomを利用して行われました。全国LD親の会の運営のために、各ブロックから理事と評議員を選出しています。当ブロックは東京、神奈川、千葉、茨城、栃木、群馬、新潟、長野、山梨、静岡、岩手、埼玉の各地の14の親の会で構成しています。

オンラインへの転換や各会平等の観点から、今までの選出方法を変更する必要が生じ、変更案を話し合いました。麦からは現在理事が選出されている(任期は2023年6月全国LD親の会総会までの予定)ので、次に担当が回るのはしばらく先になると思われませんが、全国LD親の会の存在と、つながりの大切さを考え直す機会にもなりました。

(M・K)

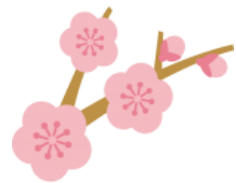


全国LD親の会 オンライン交流会 テーマ「発達障害関係予算の要望について」

1/15(土)19時からZoomを利用して行われました。全国LD親の会では、文部科学省と厚生労働省に毎年要望書を提出しています。そこで、全ての会員対象に要望書をテーマに交流会を企画してくださいました。

全体で42名の参加者がありました。麦からは役員2名、会員1名、理事として1名参加しました。前半は全員で、理事長から来年度の文部科学省の予算案やGIGAスクール構想の説明などを伺いました。また地域の活動の例として「麦」の要望活動について理事のYさんが説明しました。後半は3つのグループに分かれて、各会の要望に関する活動の報告や疑問、新たに要望してほしい内容などを出し合いました。各会が行政の発達障害関係の委員会など様々な機会を利用して要望を伝えている様子が分かりました。麦が続けてきた要望書提出などの活動は貴重なもので、大切にしていきたいと思いました。

(M・K)



東海北陸ブロック主催オンライン講演会

障害者の就労イメージをアップデートする試み ～働くことが誇りになる場所を作る～

講師：後藤千絵氏(一般財団法人サステナブル・サポート代表理事)

10/24(日)、標記テーマのオンライン講演会が、東海北陸ブロック主催で行われ、「麦」から全国LD親の会理事であるYが申込み参加いたしました。簡単ですが、内容をご報告させていただきます。

サステナブル・サポートは、誰一人取り残さない支援を目指し、福祉事業(就労移行支援・就労継続支援B型事業所)による支援および制度の狭間にあり孤立しがちな方々へ就労支援を行っています。就労継続支援B型事業所「アリー」は、2021年5月に岐阜の古民家を改装して、一棟貸しの宿「帰蝶」をオープンしました。

「帰蝶」では、平日は障害者達が和紙や和傘作りなどの作業を行い、休日は宿泊施設として古民家を丸ごと一棟貸して、福祉の枠を超えた就労支援に取り組んでいます。「障害者が仕事に誇りとやりがいを生み出し、収入をあげること」「地域と連携し、障害者就労のイメージを変える事」を目標としているそうです。

今回の講演を拝聴し、障害者支援と地域の在り方について、とても勉強になりました。通常、よほど情報収集しない限り、埼玉で暮らしている私達には、岐阜での取り組みに気が付きません。全国LD親の会に所属しているからこそ、東海北陸地区の先進的な取り組みを把握することができました。講師の後藤様、主催者である東海

北陸ブロックの皆様、貴重なお話をありがとうございました。「帰蝶」のご発展を心からお祈りしております。

(H・Y)



令和3年度 第1回埼玉県発達障害者支援地域協議会

10月21日（木）発達障害総合支援センター 研修室（オンライン会議システム併用）にて標記の協議会が開催されました。Zoomにて参加しました。内容は以下のとおりです。

報告 県の発達障害児・者支援に関する事業報告

- 議題 （1）発達障害児・者に対する新型コロナウイルス感染症の影響について
（2）発達障害の診療に係る待機について

診療待機問題については支援機関や小児科医、臨床心理士などのお立場からいろいろなご意見が聞けました。保護者の立場からもご意見を聞いて改善する方向で協議を続けていくことになりました。

ご質問や資料閲覧などの問い合わせは、役員までお願いいたします。

（A・Y）



役員活動報告（さいたま市）

令和3年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会

1/24（月）、さいたま市子ども家庭総合センター会議室において標記の協議会が開催され、「麦」事務局の Y が出席いたしました。当日は、「委員所属機関活動報告」「ひきこもり相談センター活動報告」「ひきこもりに関する相談支援体制の充実をめざした取り組み」について、話し合いました。出席委員達からは、コロナによって中止になった活動やオンラインへの移行、中高年のひきこもり対策などが報告されました。私は、「麦」と全国LD親の会の活動について報告いたしました。また、緊急事態宣言で訪問支援が中断してしまう時には、たとえ家庭訪問できなくても、オンラインで支援員とひきこもり当事者が顔を見ながら会話できる仕組みを構築いただけるようお願いいたしました。コロナ禍では、誰もが以前と同じ活動を続けることはできません。オンラインで代用できるもの、本人と直接会わなければならないもの、相談センターをはじめ関係団体が知恵を絞り、支援活動を工夫していくことが大切だと感じました。（H・Y）

役員活動報告（さいたま市）

こころの健康センター主催



「思春期編 発達の課題がある子どもたち～家族のための勉強会～」

1月26日（水）さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」にて「発達の課題がある子どもたち～家族のための勉強会～」に、当会から2名の会員が先輩保護者としてお話をさせていただきました。事前に質問もいただいており、小6から高3までの保護者の方々が参加しました。

勉強会では、座談会と質疑応答の時間をとりました。皆さんたくさんお話したいことがあり、あっという間に時間が過ぎました。悩みにお答えすることは難しいこともありましたが、こういった場で日頃の悩みをお話するだけでも有意義だと思います。お友達もできるかも知れません。次回は新規の方を優先的に参加させたいとのことでした。（M・H）

令和3年度第2回さいたま市障害者政策委員会

1月17日（月）に標記委員会がオンライン（Zoom）にて開催されました。

まず、障害者理解に関する周知啓発についての報告がありました。事業者や市民を対象としたパンフレットの作成及び配布やイベントによる周知が行われたこと、また、市職員を対象にした啓発などの報告でした。その他、第2回誰もが共に暮らすための市民会議の報告、障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査（案）について報告がありました。それぞれに対する質疑応答もおこなわれました。（Y・S）

令和3年度第2回誰もが共に暮らすための市民会議

去る12月17日（金）に標記会議が開催されました。新型コロナウイルス感染症予防のため、会場開催と書面開催を合わせての実施でした。私は会場で参加させていただきました。議題は、「デジタルの活用とその課題について」、「障害者のスポーツ活動について」、「選挙における合理的配慮について」の3点でした。5つの小グループに分かれ話し合われました。私の参加したグループは5名で「デジタルの活用とその課題について」をとりあげました。Web会議システムを利用することで、移動や時間の負担が軽減したといったメリットが挙げられた一方、デジタル機器の習得はハードルが高い人もいたとの意見がありました。その後、各グループの話し合いの結果が発表されました。障害者スポーツでは参加機会について、選挙における合理的配慮では投票時の合理的配慮の他に、投票前の情報入手についてなどが挙げられていました。いろいろな立場の方の意見を伺うことができ、大変勉強になりました。（Y・S）

全体活動



全体おしゃべり会



10月28日（木）10:30～12:00

浦和コミュニティセンター 第13集会室にて
参加者 13名（会員8名、見学参加5名）

3つのグループに分かれて、時折り笑い声があがったりしつつ和やかに開かれました。子どもの年齢が近い人と悩みを共有したり、5年10年20年先を経験してきた先輩ママさんの体験を必要に応じて楽しく聴かせていただける会でした。

お子さんの特性も様々で必要な対応も違うと思いますが、書籍やネット情報のように一方向ではなく、双方向＆具体的な質問を色々な方に気軽にできる場所はなかなかないので、とても心強く感じました。ありがとうございました。（N）

1月14日（金）に2か月ぶりのオンラインおしゃべり会を行いました。参加者 会員5名

みなさま大きなお子様の親御さんは職業訓練、お仕事などのお話、小さなお子様の親御さんは進学などのお話で大変盛り上がりしました。

コロナ禍ではありますが、このような時間があってオンラインでも楽しくおしゃべりをしてほっこりでき仲良くお話できたことはとても良かったです。

またみなさまでいつかは対面で集まれますように・・・。（A・N）

13:00～15:00 参加者 見学者5名 会員3名
入会希望の見学のお子様は年齢が幅広く、年齢ならではの深刻な悩みや話題がありました。オンラインでのお答えする難しさを感じました。対面でも入会希望の方が来られるようになりますように・・・（A・Y）

役員活動報告

発達障害の初診待機解消に関する取組み

県内の中核発達支援センターの受診待機が長いことについて、5月に埼玉県発達障害総合支援センターと「麦」役員が話し合ったことは、機関紙10月号（152号）でお伝えしました。このたび更なる意見を伺いたいと、再度埼玉県発達障害総合支援センターから連絡があったので、まず会員に対して、民間診療を含む近年の初診待機状況と待機期間の保護者の気持ち等を調査いたしました。その結果をふまえ、2/7（月）「麦」役員4名がオンライン（Zoom）でセンター担当者話し合いました。「麦」からは、会員から寄せられた声を伝え、「発達障害を診断できる専門性の高い医師の確保と育成」「発達障害の診療報酬の見直し」「医療機関における緊急時の受診体制」「初診待機期間の不安を解消させる医療以外の場のサポート（医療・福祉・教育の連携）」「民間を含む地域資源を活用した支援ネットワークの構築」「初診前のアセスメントの工夫」等の対策について、ご説明させていただきました。センター担当者からは、県内の現状と先進地域の対応等を教えていただき、診療待機期間の解消が一筋縄ではいかないことを痛感いたしました。

私達「麦」会員は、多かれ少なかれ診療待機期間の不安を経験しています。自らの経験を活かし、不安を抱える保護者に寄り添える活動を「麦」では目指そうと思っています。埼玉県発達障害総合支援センターの皆様、私達「麦」の声を真摯に受け止めて下さり、本当にありがとうございました。親の会でできることは限られますが、各家庭と関係機関をつなぐ一助になれば幸いです。（H・Y）

「麦」活動報告（機関紙 2021 年 10 月 152 号報告以降）

<会全体の活動> 会員参加行事

- 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
10/28（木） おしゃべり会 会場開催
1/14（金） おしゃべり会 オンライン開催
- 全体活動に関する活動
12/8（水） 1/14 開催方法等スタッフ打ち合わせ

<役員活動>

- 役員会（活動の報告、計画、相談、情報交換など） 全て Zoom 利用
10/14（木）、11/15（月）、12/17（金）、1/7（金）、2/7（月）
下半期の会員向け活動計画 関東・東北ブロックから選出する全国 LD 親の会役員の選任方法について
「麦」へのアンケート回答について 今年度 3 月総会の準備 来年度の活動について
- 機関紙発行および各種発送に関する活動
10/28（木） 機関紙 152 号発行、WEB 掲載
機関紙印刷・発送、「教育から就業への以降実態調査Ⅳ」全会員へ発送
- ホームページの更新
10/2（土）、6（水）、10/16（土）、11/30（火）、12/2（木）、12/8（水）、1/2（日）、1/31（月）
- 行政関連の行事
10/21（木） 令和 3 年度第一回埼玉県発達障害者支援地域協議会（Zoom）
12/17（金） 令和 3 年度第 2 回さいたま市誰もが共に暮らすための市民会議（Zoom）
1/17（金） さいたま市障害者政策委員会（Zoom）
1/24（土） 令和 3 年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会
1/26（水） さいたま市こころの健康センター主催保護者向け勉強会で保護者経験談
- その他
10/28（木） 埼玉県福祉部障害福祉推進課訪問
11/25（木） 「麦」ロッカー片付け、在庫書籍の確認
2/7（月） 埼玉県発達障害総合支援センターとの話し合い

<全国 LD 親の会の行事>

- 11/23（火）、12/18（土） 関東・東北ブロック臨時会議
- 12/11（土） 日本 LD 学会第 30 回大会親の会企画シンポジウム シンポジストとして参加
- 1/15（土） オンライン交流会（予算要望について） Zoom

麦 INFORMATION 2 月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで mugi.saitama89@gmail.com または、機関紙役員まで。

🌸 埼玉親の会「麦」主催 全体交流会「あなたが望む発達障害支援とは」

- 日時：4 月 21 日（木） 10：30～12：00（受付 10：15～）
会場：浦和コミュニティセンター 第 13 集会室
※詳細は 8 ページのチラシをご覧ください。
※正会員は連絡網をご確認ください。
🌸 5 月 23 日（月）進路例会を予定しています。

* 今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。

埼玉県の県民向け講演

講演会① 「自閉スペクトラム症の子どもや青年とオンラインゲームの世界」

- (1) 実施方法 埼玉県公式動画アカウント「サイタマどうが」(YouTube)による動画配信
(事前申込不要)
- (2) 配信期間 令和4年3月1日(火)9時から
- (3) 講師 関 正樹 氏 (医療法人仁誠会 大湫病院(岐阜県) 児童精神科医)
- (4) 主催 埼玉県、公益財団法人明治安田こころの健康財団
- (5) 後援 明治安田生命保険相互会社



講演会② 「発達障害は生涯発達！モノの見方が全てを変える

～大切なのは 笑いと感謝 実践をして感じたこと～

- (1) 実施方法 埼玉県公式限定公開セミナー動画チャンネル(YouTube)による動画配信
(事前申込要・申込みをされた方に動画視聴URLを送付)
- (2) 配信期間 令和4年3月29日(火)10時から令和4年4月12日(火)15時まで
- (3) 講師 柳家 花緑 氏 (落語家)
- (4) 申込方法 電子申請システムより申込
- (5) 申込期間 令和4年2月7日(月)から令和4年4月12日(火)12時まで

チラシ等、詳しくは発達障害総合支援センターホームページから↓

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0614/index.html>

さいたま市 発達障害に関する講演会 (オンライン)

「発達障害がある方の進路選択と就労支援」について

<講師>・進路選択について

さいたま市北区障害者生活支援センター 相談支援専門員 岸端 泉氏

・就労支援について

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部

埼玉障害者職業センター 主幹障害者職業カウンセラー 田村 恭子 氏

<配信期間> 令和4年3月14日(月曜日)から令和4年4月15日(金曜日)まで

<配信方法> さいたま市公式YouTubeチャンネルによる申込者限定配信

※申込者へ視聴用のURLをお送りします(配信期間の直前を予定)

詳細チラシはこちらから↓

https://www.city.saitama.jp/002/003/004/003/001/p086330_d/fil/chirashi.pdf

申込はこちらから↓

<https://www.city.saitama.jp/enquete/e001402.html>



原稿お礼と編集後記

*機関紙に原稿をお寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙2月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。〈機関紙担当一同〉

*この2年ほどCOVID-19には翻弄され、役員の仕事もままならず、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。新たな変異株のオミクロン株の感染者もあれよあれよという間に増えたこの1カ月、皆様多かれ少なかれ影響を受けたのではないかとお察しします。リモートワーク生活にもだいぶ慣れ、便利ではありますが、一方で、対面でのコミュニケーションに飢えている一面もあります。多様な生活スタイル、多様な人々、ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂性)を意識しつつ、より良い方向に社会が進んでいくことを切に望みます。(C・O)

埼玉親の会「麦」主催

発達障害のある子を持つ親にとって、本当に必要な支援とは何ですか？
小グループで話し合ってみませんか？

愚痴でも、たわいもないおしゃべりでも構いません。

あなたの声を是非お聞かせください。
会員限定の交流会ですが**入会検討中の非会員の方も、見学参加できます。**

周囲の理解不足

感覚過敏

親子関係がギクシャク

友達ができない

受験が心配

親亡き後は？

働けない

不登校
ひきこもり

交流会

あなたが望む

発達障害支援とは

参加費無料



日時 4月21日(木) 10:30~12:00 (受付 10:15~)

会場 浦和コミュニティセンター 第13集会室

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F TEL 048-887-6565
JR 浦和駅東口徒歩 1分 ロータリー前 有料駐車場あり

定員 30名 (会場定員の1/3の人数) 先着順。定員になり次第締め切り。

申込み&問合せ先 埼玉親の会「麦」 Mail mugisaitama89@gmail.com

4月14日(木)までに、お名前、電話番号およびお子様の年齢をお知らせください。

見学参加者の個人情報、交流会の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。正会員は連絡網で申し込みを確認してください。

新型コロナウイルス感染防止対策のお願いと諸注意

- お子様を感染から守るため、お子様のご同伴はお控え願います。
- 当日は検温し、マスク(要持参)を必ず着用してください。体調不良の場合はご参加を見合わせてください。
- 感染対策に際し、理由なくスタッフの指示にご協力いただけない場合は、お断りすることがございます。
- 会場開催の予定ですが、緊急事態宣言等の感染状況によりオンライン(Zoom)に変更する場合がございます。その際はご連絡させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 感染対策は行いますが、万一感染者発生の場合、当会は責任を負いかねます。ご理解の程お願いいたします。

埼玉親の会「麦」は、

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症)の知的に遅れない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。(1989年発足)保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

NPO法人全国LD親の会所属。